

講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、
本誌に掲載された討論会に関する情報は、
下記本会ホームページからご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

日本化学会九州支部フォーラム
2026

主催 日本化学会九州支部

会期 9月26日(土)10時～16時30分

開催方式 対面式

会場 長崎大学文教スカイホール(長崎市
文教町1-14) [交通] 路面電車「長崎駅前」電
停から、「赤迫」行きの1番・3番系統で「長
崎大学」下車

参加申込締切 9月11日(金)

依頼講演(敬称略)

1. 林 高史(日本化学会筆頭副会長・阪大)

2. 白川誠司(長崎大)

3. 松田潤子(九大)

参加費 一般・教員3,000円、学生の聴講は
無料。

懇親会 9月25日(金)18時30分～20時30
分、いけ洲居酒屋むつ五郎(長崎市八幡町9)
にて。会費6,000円(税込)

参加申込方法 Web

申込先・問合先 日本化学会九州支部 電話
(092)802-4130 E-mail: qsubutcf@chem.
kyushu-univ.jp <https://forms.gle/o9dApuNURLTso9Pk9>

第423回液体クロマトグラフィー
研究懇談会

—医薬品モダリティの多様化に対応する
HPLC分析, LC/MS/MS分析—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラ
フィー(LC)研究懇談会

後援 日本化学会

会期 9月28日(月)

開催方式 対面式

会場 株式会社島津製作所東京支社イベン
トホール(千代田区神田錦町1-3) [交通] JR
「神田」駅徒歩10分

参加申込締切 9月18日(金)

近年、医薬品モダリティの多様化が急速に
進み、求められる分析内容も高度化・複雑化
しています。HPLCおよびLC/MS/MSは汎用
性が高く、高感度・高選択性を有することから
、創薬研究から開発、品質評価まで幅広い
領域で重要な基盤技術としての役割を担って
います。本例会では、核酸医薬や抗体薬物複
合体(ADC)を中心に、最新分析技術や応用
事例をご講演いただきます。

1. 講演主題概説(オーガナイザー)(東レリ
サーチセ) 櫻井 周

2. 多様化するモダリティとその周辺分野に
対するLC/MS/MS分析の事例紹介(東レリ
サーチセ) 櫻井 周

3. モダリティ多様化に対応したカラム・分
離手法(クロマニックテクノロジーズ) 小山
隆次

4. LC-MS/MSを用いた抗体薬物複合体(ADC)
の包括的定量分析(住化分析) 松井誠一

5. ホスホロチオアートオリゴ核酸とその不
純物の分離改善(化学物質評価研究機構) 坂
牧 寛

6. オリゴヌクレオチドの分離条件最適化か
ら不純物解析までの実践事例(島津製作所)
早河瑞希

7. 核酸医薬品の不純物分析(東レリサーチ)

高尾英伸

8. 総括: 医薬品モダリティの多様化に対応
するHPLC, LC/MS/MS(東理大) 中村 洋
参加費 学生1,000円、後援学会・個人会員
4,000円、後援学会・団体会員4,500円、そ
の他5,000円

懇親会 講演終了後。会費5,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 (公社)日本分析化学会・液
体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail:
amane.sakurai.d5@trc.toray <https://www.lckon.org/lckon/reikai/lckon0423.html>

第38回高分子学会 NMR 講座

—基礎と応用コース—

主催 高分子学会 NMR 研究会

協賛 日本化学会

会期 9月29日(火)9時40分～17時20分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 機械振興会館6階6-67会議室(港
区芝公園3-5-8) [交通] 日比谷線「神谷町」
駅より徒歩8分、三田線「御成門」駅より徒
歩8分、大江戸線「赤羽橋」駅より徒歩10
分、浅草線・大江戸線「大門」駅より徒歩10
分、JR「浜松町」駅より徒歩15分

参加申込締切 9月18日(金)

1. 固体NMR基礎講座(三井金属) 大橋竜太
郎

2. 固体NMR応用講座(化学物質評価研究機
構) 齋藤貴之

3. 溶液NMR応用講座(徳島大) 平野朋広

4. 溶液NMR基礎講座(横浜市大) 池上貴久

5. NMRによる食品ゲル中の分子運動性評価
(東京海洋大) 松川真吾

参加費 企業(高分子学会・日本化学会員)
11,000円、大学・官公庁(高分子学会・日本
化学会員)4,400円、学生(高分子学会・日
本化学会員)2,200円

参加申込方法 Web

申込先・問合先 104-0042 中央区入船3-
10-9 新富町ビル6階 公益社団法人高分子
学会 石津光輝 電話(03)5540-3770 FAX
(03)5540-3737 E-mail: resg2@spsj.or.jp
<https://member.spsj.or.jp/event/>

夢・化学-21 化学への招待

—化学と遊ぼう—

主催 日本化学会中国四国支部

会期 10月11日(日)10時～18時

開催方式 対面式

会場 島根大学総合理工学部1号館1階
(松江市西川津町1060) [交通] 「島根大学前」
バス停下車5分

参加申込締切 なし

化学実験を通し、化学の楽しさを体験しま
す。実験テーマは、「色で分かる! CO₂の大
変身」、「化学で作るオリジナルスーパーボ
ール」、「シャボン玉を浮かべてみよう」、「水風
船を作ってみよう」、「ミカン発泡スチロー
ルを溶かす?」などの予定です。大学祭期
間中ですので、合わせてお楽しみ下さい。

参加費 無料

参加申込方法 申込不要。自由に参加いた
だけます。

申込先・問合先 690-8504 松江市西川津町
1060 島根大学総合理工学部 鈴木優章
電話(0852)32-6417 E-mail: m-suzuki@riko.
shimane-u.ac.jp <https://www.chem.shimane-u.ac.jp/>

令和8年度東海地区
化学教育討論会 岐阜大会

主催 日本化学会東海支部 日本化学会東
海支部化学教育協議会

会期 10月24日(土)10時30分～16時
30分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 岐阜大学工学部100番教室(岐阜市
柳戸1-1) [交通] 岐阜バス JR岐阜・名鉄岐
阜よりC70(またはC71, C72, N37)系統
「岐阜大学病院」行き30分岐阜大学下車

参加申込締切 10月5日(月)

研究発表

1. 教えることをやめました(本巣松陽高) 日
比 学

2. 無機物質の変化と反応の型を関連付ける
化学実験～無機を楽しむ、わかりやすく(半
田高) 湯浅 聡

3. AI時代に“考える化学”をどう守るか —
想起を取り入れた比較型学習による概念理解
の実践(静岡東高) 山梨達也

4. 見えない微生物を通して見る世界 —基礎
科学から自然・文化・産業まで(鈴鹿高専)
今田一姫

5. 課題研究の指導方法～私が出会ったセレ
ンディピティ(屋代高) 中村 英

6. わさびの来た道 —氷河期から食卓へ(岐
阜大) 山根京子

特別講演

7. 教育研究に基づく学習評価 —何を目的と
してどのように測るのか?(名大) 安田淳一
郎

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合先 501-1193 岐阜市柳戸1-1
岐阜大学工学部化学 生命工学科 窪田裕大
E-mail: kubota.yasuhiro.u8@f.gifu-u.ac.jp

第78回プラスチックフィルム
研究会講座

—半導体の高機能・高性能化に貢献する
プラスチックフィルム—

主催 高分子学会プラスチックフィルム研
究会

協賛 日本化学会

会期 10月27日(火)10時20分～17時
10分

開催方式 オンライン・対面併催

会場 東京科学大学大岡山キャンパス西9
号館コラボレーションルームおよびオンライ
ン(目黒区大岡山2-12-1) [交通] 東急目黒
線・東急大井町線「大岡山」駅下車徒歩3分

参加申込締切 10月19日(月)

1. AI時代の半導体産業構造と地政学につい
て(News & Chips) 津田建二

2. 先端半導体パッケージの開発動向と今後の展望 (NEP Tech.S&S) 西田秀行
3. 半導体パッケージ材料に求められる課題とは (福岡大) 野北寛太
4. 半導体モールド用離型フィルムの開発 (ハリマ化成) 安部雄介
5. 次世代半導体向け、微細・高密度配線用感光性ポリイミドシート (東レ) 嶋田 彰
6. 次世代半導体パッケージプロセスに向けたポリ乳酸フィルムの提案 (東洋紡) 阿部亮永
参加費 企業 (高分子学会・日本化学会員) 19,800円, 大学・官公庁 (高分子学会・日本化学会員) 7,700円, 学生 (高分子学会・日本化学会員) 4,400円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 104-0042 中央区 入船 3-10-9 新富町ビル 6 階 公益社団法人高分子学会 石津光暉 電話 (03) 5540-3770 FAX (03) 5540-3737 E-mail: resg2@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

夢・化学-21 化学への招待 高校生のための化学講座

—鈴木・宮浦クロスカップリング反応で
蛍光分子を作ってみよう—

主催 日本化学会東海支部化学教育協議会
会期 10月31日(土)13時~11月1日(日)16時
開催方式 対面式
会場 静岡大学教育学部理科教育専修 (静岡市駿河区大谷 836) ※集合場所の詳細は、参加者に後日 E-mail でお知らせします。[交通] JR「静岡」駅北口・しずてつジャストラインバス 8 番乗り場より美和大谷線「静岡大学」行き・「東大谷」(静岡大学経由) 行き・「ふじのくに地球環境史ミュージアム」(静岡大学経由) 行きに乗車「静岡大学」または「静大片山」で下車
参加申込締切 9月30日(水)17時 定員(各日 20 名) 申込多数の場合は抽選。※両日とも同じ内容です。参加希望日を申込フォームで選択して下さい。
対象 高校生
「鈴木・宮浦クロスカップリング反応で蛍光分子を作ってみよう」

2010 年のノーベル化学賞の対象となった「鈴木・宮浦クロスカップリング反応」を、大学の化学実験室で体験してみませんか。実験の前後には、有機化学の研究や「鈴木・宮浦クロスカップリング反応」の仕組み、分子が光や色を生み出す仕組みについてもわかりやすく解説します。

参加費 無料
参加申込方法 Web
申込先 HP (<https://forms.cloud.microsoft/r/y1zDjXSBLf>) の申込フォームよりお申し込み下さい。
問合先 422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学教育学部理科教育専修 坂部将仁 電話(054)238-4624 E-mail: sakabe.masato@shizuoka.ac.jp

2026 年北海道地区 化学教育研究協議会

主催 日本化学会北海道支部
会期 11月7日(土)10時~16時30分
開催方式 オンライン・対面併催
会場 北海道教育大学札幌駅前サテライト (札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 sapporo55 4 階) [交通] JR「札幌」駅西口徒歩 2 分
参加申込締切 10月26日(月)ただし定員(80 名)になり次第
演題: 化学分野における小・中・高・大の系統性を踏まえた探究的学びの質向上を目指して—実験・観察を基盤とした「深い学び」と主体性の育成 (福岡教育大) 伊藤克治
提言: 「理科 (化学) 教育における小・中・高・大学での取り組み」を 4 件ほど予定 (提言 20 分, 質疑応答 5 分程度)
自由討論: 「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する討論」(1 時間程度)
対象 小学校から大学までの教員、化学教育に関心のある大学 (院) 生
定員: 80 名
参加費 無料
懇親会 希望者、五修堂 (札幌市中央区南 1 条東 2 丁目) にて。会費 4,000 円予定
参加申込方法 Web 下記 Google フォームか E-mail でお申し込み下さい。

名簿作成の関係で 10月26日(月)締切としますが、協議会につきましては「当日参加」も可能です。
申込先・問合先 060-8628 札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学大学院工学研究院 坂入正敏 電話(011)706-7111 E-mail: msakairi@eng.hokudai.ac.jp <https://forms.gle/bDu5v5cNwWR85zP49>

第 58 回塗料基礎講座

主催 色材協会関西支部
協賛 日本化学会
会期 11月9日(月), 10日(火)
開催方式 オンライン
参加申込締切 10月30日(金)
塗料は多機能材料として幅広い分野で利用されており、近年は高機能化・多様化が進む中で、塗料に関する知識の重要性がますます高まっています。本講座は 58 回目を迎え、塗料の基礎知識と技術の理解・習得を目的に開催します。最新の技術動向や法規制など実務に役立つ内容も取り入れ、わかりやすく学べる構成としています。塗料関連業界に携わる方やこれから携わる方はもちろん、塗料に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。
1 日目
1. 塗料の概論 (大日本塗料) 濱中征爾
2. 塗料用顔料の基礎と技術動向 (日本ペイントコーポレートソリューションズ) 山崎明
3. 塗料用添加剤の基礎と技術動向 (楠本化成) 末藤順平
4. 塗料用樹脂の基礎と技術動向 (DIC) 杉山将志
5. 塗料用樹脂の基礎と技術動向 (サイデン化学) 須田直久
2 日目
1. 塗料・塗膜の物性と評価方法 (日本ペイ

ント・オートモーティブコーティングス) 武村健太
2. 塗装の基礎と技術動向 (旭サナック) 小田真也
3. カラーデザインの基礎 (関西ペイント) 湯澤幸代
4. 塗膜の耐久性 (1) 耐候性 (大日本塗料) 木口忠広
5. 塗膜の耐久性 (2) 防食性 (トウペ) 岡 浩司
6. 塗料・塗装に関する法規制の概要 (関西ペイント) 松田真子
参加費 色材協会会員 29,600 円, 協賛学協会会員 29,600 円, 非会員 39,800 円
参加申込方法 Web
申込先・問合先 150-0013 渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料会館 201 一般社団法人色材協会事務局 電話 (03) 3443-2811 FAX (03) 3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp https://shikizai.org/58_toryokisokouza/

NIMS Award Symposium 2026

—Engineering the Future of SOLID STATE
BATTERIES (全固体電池の未来を切り拓く
技術と革新)—

主催 物質・材料研究機構
協賛 日本化学会
会期 11月10日(火)
開催方式 対面式
会場 つくば国際会議場 (つくば市竹園 2-20-3) [交通] つくばエクスプレス線「つくば」駅徒歩約 10 分
参加申込締切 詳細は下記シンポジウム特設 HP にてご案内

本シンポジウムでは、全固体電池を実現する鍵となる固体電解質、イオン伝導、電極・電解質界面などの材料科学に焦点を当てます。2026 年度 NIMS Award 受賞者による記念講演をはじめ、この分野を牽引する研究者による講演を通じて、材料設計の基礎から実用化・社会実装に向けた最新の研究開発までを俯瞰し、今後の全固体電池研究の方向性と展望について議論します。

参加費 無料
参加申込方法 Web
申込先・問合先 物質・材料研究機構 NIMS Award シンポジウム 2026 特設サイト <https://www.nims.go.jp/nims-award-symposium>

セミナー「岩石蓄熱エネルギー マネジメント技術実証施設の見学」

主催 化学工学会関西支部
協賛 日本化学会近畿支部
会期 11月11日(水)13時~16時25分
開催方式 対面式
会場 新東海製紙(株)島田工場 (島田市向島町) [交通] JR「島田」駅南口ロータリーより貸切バスにて移動
参加申込締切 9月30日(水)ただし定員(20 名)になり次第
1. 新東海製紙島田工場の概要説明 (新東海製紙) 担当者未定
2. [特別講演] 脱炭素に資する蓄熱発電・熱電池の現状と課題 (エネルギー総合工学研) 岡崎 徹

3. [技術講演] 岩石蓄熱 EMS 実証開発の取り組み (東芝) 松崎晃宏
4. 岩石蓄熱 EMS 実証施設の見学
5. 名刺交換会

参加費 主催・日本化学会個人正会員 20,000 円、主催・日本化学会所属法人会員 24,000 円、大学・公設機関 8,000 円、学生会員 3,000 円、会員外学生 5,000 円、会員外 38,000 円 (テキスト代・消費税込)

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 550-0004 大阪市西区靱本町 公益社団法人化学工学会関西支部 電話 (06)6441-5531 FAX(06)6443-6685 E-mail: apply@kansai-scej.org <https://www.kansai-scej.org/topics/7604>

令和 8 年度高分子コロキウム

主催 日本化学会

会期 11 月 12 日 (木) 13 時～15 時

開催方式 対面式

会場 岩手大学理工学部一祐会館大会議室 (盛岡市上田 4-3-5) [交通] (バス)「盛岡」駅東口バスのりば 11 番岩手県交通「松園バスターミナル」行きで「上田四丁目」下車 (20 分間隔)、(タクシー)「盛岡」駅から約 10 分

参加申込締切 なし

参加費 無料

参加申込方法 E-mail

申込先・問合せ 中川 勝 E-mail: masaru.nakagawa.c5@tohoku.ac.jp

26-4 ポリマーフロンティア 21

スマートポリマーが拓く可能性と未来

主催 高分子学会行事委員会

協賛 日本化学会

会期 11 月 12 日 (木) 10 時 20 分～17 時

開催方式 オンライン

参加申込締切 11 月 5 日 (木) 12 時

1. スマートポリマーで挑むグローバルヘルス (物質・材料研究機構) 荏原充宏
2. 機能性色素を用いたスマートポリマーの開拓 (広島大) 今任景一
3. スポットライトからスポットサウンドへ：ポリマーをスマート化する音響デバイスの工学 (九大) 本多 智
4. 超分子メカノフォアを利用したメカノロミックポリマー (科学大) 相良剛光
5. 医療応用に向けたスマートポリマーバイオマテリアルの開発 (関西大) 大矢裕一
6. 刺激応答性磁性ナノ粒子を用いた超高速高感度免疫診断技術 (SEGNOS) 大西徳幸

参加費 企業 22,000 円、大学・官公庁 11,000 円、学生 1,100 円、名誉・終身・フェロー・ゴールド・シニア会員 3,300 円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 104-0042 中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6 階 公益社団法人高分子学会 26-4 ポリマーフロンティア 21 係 電話 (03)5540-3772 E-mail: webgyoji@spsj.or.jp <https://member.spsj.or.jp/event/>

大阪教育大学公開講座 かがくを楽しもう

—子と親の楽しいかがく教室—

主催 大阪教育大学

共催 日本化学会近畿支部

会期 11 月 14 日 (土) 13 時～16 時

開催方式 対面式

会場 大阪教育大学柏原キャンパス (柏原市旭ヶ丘 4-698-1 大阪教育大学) [交通] 近鉄大阪線「大阪教育大前」駅下車徒歩約 15 分

参加申込締切 10 月 14 日 (水) の予定 (下記 HP でご確認ください)

大学の研究室での実験：指の模型を作ろう・草花のしおりと花火を作ろうのような実験テーマを用意しています。実際のテーマは HP でご確認の上、申込みの際に選択して下さい (各テーマについて定員があります)。

対象 小学生高学年 (4～6 年生) と保護者の親子ペア

参加費 無料

参加申込方法 Web 下記大阪教育大学の HP の公開講座のページをご覧ください。

申込先・問合せ 582-8582 柏原市旭ヶ丘 4-698-1 大阪教育大学 種田将嗣 電話 (072)978-3398 E-mail: tane@cc.osaka-kyoiku.ac.jp <https://x.gd/kagaku>

第 20 回日本電磁波エネルギー 応用学会シンポジウム (Sympo2026 (福井))

—電磁波エネルギー研究 20 年の発展と深化を
展望し、明るい未来を紡ぐ—

主催 日本電磁波エネルギー応用学会

協賛 日本化学会

会期 11 月 18 日 (水) 9 時 5 分～20 日 (金) 18 時 15 分

開催方式 対面式

会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ内 (福井市手寄 1-4-1) [交通] JR「福井」駅下車東口徒歩 1 分

参加申込締切 10 月 30 日 (金)

当学会はマイクロ波エネルギー利用の化学と技術に関する国内でも重要な「日本学術会議協力学術研究団体」指定の学会です。シンポジウムは当学会最大の行事であり、200 人近い来場者、100 件近くの口頭・ポスター・企業発表がなされます。11 月 18 日 (水) は「2026 年度ショートコース」で学界・産業界の取り組みの講演会と見学会を予定。シンポジウムとは別料金となり、11 月 18 日 (水) のみの参加も可能です。11 月 19 日 (木)、20 日 (金) はシンポジウムで口頭・ポスター発表、招待講演、企業発表、機器展示、学会選考の受賞者の記念講演を予定。化学・電気・材料・装置等複数ジャンルの産官学の研究者・メーカーによる幅広い分野の研究・開発の発表と議論がなされ、複数分野の専門家・異業種の人との情報交換が可能です。共同研究を始めるための「新たな人脈」「独創的な研究分野の開拓」「異分野間での知識の共有」をぜひ！

なお、優秀な口頭・ポスター発表には 4 種類の Award を授与いたします。

参加費 9 月 30 日 (水) までの前期登録：当会会員・日本化学会会員 9,000 円 (一般)、4,000 円 (学生) (ほかの協賛団体会員も同額)。非会員 18,000 円。10 月 1 日 (木)～10 月 30 日 (金) 登録は価格改定 (参加費は税込・電子版「講演要旨集」付・領収書発行・希望者にインボイス制度対応請求書発行)。

懇親会 11 月 19 日 (木)、AOSSA 3F WELL AOSSA にて。会費 6,000 円 (一般)、4,000 円 (学生)

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 155-0033 世田谷区代田 5-13-17 日本電磁波エネルギー応用学会事務局 事務局長 佐藤さ子 電話/FAX (03) 3414-4554 E-mail: office@jemea.org <https://www.jemea.org/>

第 425 回液体クロマトグラフィー 研究懇談会

—HPLC 分析の効率化—

主催 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 日本化学会

会期 11 月 20 日 (金)

開催方式 対面式

会場 北とびあ 902 会議室 (北区王子 1-11-1) [交通] JR 京浜東北線「王子」駅北口徒歩 2 分

参加申込締切 11 月 12 日 (木)

環境負荷の低減や昨今の社会情勢の変化を背景として、HPLC 分析にはさらなる効率化が求められています。本例会では、溶離液使用量の削減、高速分析、高感度化などを実現する各種ソリューションや技術をご紹介いただきます。

講演

1. 講演主題概説 (オーガナイザー) (ジーエルサイエンス) 太田茂徳 (LC 分析士二段)
2. HPLC 分析の効率化に向けた超純水の最適化 (メルク) 石井直恵 (LC 分析士二段)
3. 効率化を目指したカラムサイズの最適化とそのノウハウ (化学物質評価研究機構) 坂牧 寛 (LC 分析士二段, LC/MS 分析士初段)
4. 充填剤選択による効率化 —コアシェル粒子と異種固定相の活用 (クロマニックテクノロジー) 小山隆次 (LC 分析士三段, LC/MS 分析士初段)
5. 装置から考える HPLC 分析の効率化 (島津製作所) 松田倫太郎 (LC 分析士二段)
6. 受託分析機関における LC-MS 分析の高感度化及び効率化 (ジーエルサイエンス) 滝埜 昌彦 (LC/MS 分析士二段)
7. 総括：HPLC 分析の効率化 (東理大) 中村 洋 (LC マイスター, LC/MS マイスター)

参加費 学生 1,000 円、後援学会・個人会員 4,000 円、後援学会・団体会員 4,500 円、その他 5,000 円

懇親会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します。会費 5,000 円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ (公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 E-mail: sig-ota@gls.co.jp <https://www.lckon.org/lckon/reikai/reikai0425.html>